

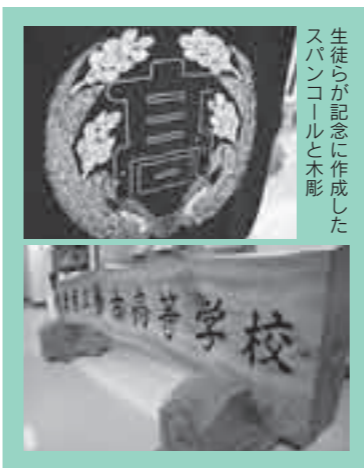
地域とともに多古高百周年



明治40年に創立され、今年で百周年を迎えた県立多古高等学校。その記念すべき節目を祝う『創立百周年記念式典』が11月17日、コミュニティプラザ文化ホールにて行われました。堂本暁子知事をはじめとする来賓や卒業生、在校生や保護者ら約千人が出席しました。

農業改善と人材育成を願って

多古高校の創立は、耕地整理事業と深い関わりを持っています。江戸時代から良質米の産出地として、その名を知られていた多古地域。明治34年に着手された耕地整理事業は翌35年に最初の工事が完了。これは全国で2番目という早さでした。この事業の成功を褒賞して、農商務大臣より金一封が授与され、この褒賞金

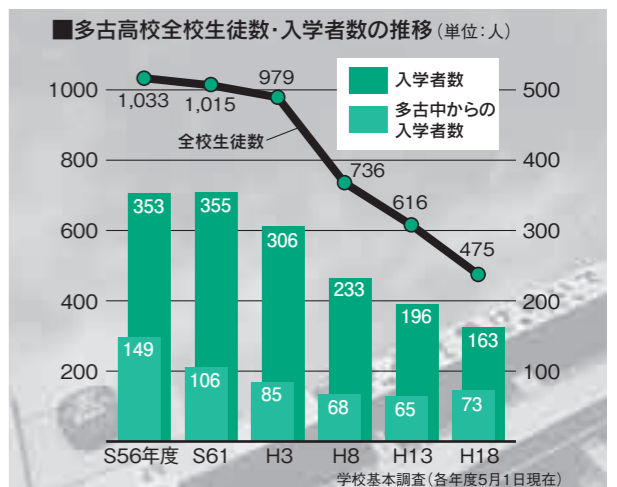


生徒らが記念に作成した
スパンコールと木彫

を基金として農学校を設立しようとの機運が高まりました。やがて日露戦争のため、一時学校設立の動きは中断したものの「耕地を活用する人づくりのため、青年の教育こそが緊急課題である」と、設立話が復活。明治40年、町立乙種農学校として開校しました。

地域と共に新たな時代へ

有志生徒による農学校校歌の歌声とともに校旗が入場し、式典が始まりました。石毛誠志校長は「地域と同窓生に支えられ、努力を積み、日々を重ね、今日を迎えることができた。これからも地域教育の核となる学校を目指します」と、式辞を述べました。また、堂本暁子知事は「6年の歳月をかけ、戦時中もその褒賞金を他の目的に使うことなく、志を貫



き学校を建設したのは尊いこと。確固たる信念が受け継がれていることに深い感銘を受ける。さらに創造的に発展して欲しい」と、約1万9千人の卒業生が千葉県の発展に貢献したとして、感謝の意を表しました。式典の実行委員長で同窓会長の郡司辰之助さんは「地域に根差したこの学校を、時には厳しく時には温かく見守って欲しい」。また、生徒会長の霞翔太くんは「百周年という節目に在籍し、いくつもの困難を克服してきた歴史の重さを感じている。良き伝統を受け継ぎ、次の百年に向かって頑張っていきたい」と、在校生を代表してあいさつしました。式典の第一部では生徒によるスライドショー、第二部では卒業生の越川喜光さんによる記念コンサートも行われ、会場を盛り上げました。

豊かな未来を次代に引き継ぐために 活力ある国際空港都市づくり講演会

成田空港を中心とした2市4町(成田市・富里市・栄町・神崎町・多古町・芝山町)での市町村合併を考える「活力ある国際空港都市づくり講演会」が11月25日、コミュニティプラザで開かれました。この会は、2市4町での合併を推進しようとする「成田空港圏合併推進連絡会」が主催し、町商工会の協力で多古町を会場に開かれたもので、東京大学公共政策大学院院長で県市町村合併推進審議会会長の森田朗氏、元成田市長の小川国彦氏が対談形式で講演しました。



冒頭、森田氏が「空港を核とした地域振興・経済活性化・環境道路整備や、少子高齢化、騒音対策などで、広域での取り組みが期待できる」など、市町村合併の必要性を説明。続いて、小川氏が衆議院議員や成田市長時代を振り返りながら、森田氏に質問を投げかける形で対談がすすめられました。対談後の質疑応答では「成田市民の感情を考えると、合併は難しいのではないか?」などの質問が参加者から出されました。森田氏は「発想を転換させて、魅力ある空港づくりを地域から発信すべき」。小川氏は「市民や町民のパワーで合併しようという大合唱を起こし、市民空港を作ろうという気持ちで頑張りたい」と述べました。それぞれの市町が持つ力を集め、長期的な視点に立ち、成田空港周辺地域の一体的な発展のために取り組むことが大切との話に、関係市町から参加した約300人は、熱心に耳を傾けました。

多古米の明日を考える 多古町タウンミーティング

町の主要農産物である多古米のこれからを考える『多古町タウンミーティング』が11月2日、多古町役場で開かれました。これは、国から押し付けられた政策でなく、意見交換の場からアイデアを模索し、行政に働き掛けていこうと企画されたものです。やる気集団や認定農業者、米の集出荷業者、消費者、多古高校生産流通科の生徒など約60人が集まり、それぞれの立場から活発な意見や質問が出されました。

魚沼産コシヒカリのようなブランド化を図るためどうすればいいのか。画一的な栽培方法で品質を均一にし、環境に配慮した不耕起栽培有機栽培などで付加価値を付け、輸出も視野に入れた販路の拡充が必要とな



るなどの意見が出されました。

また、明日の農業を担うであろう多古高校生からは「畑作には魅力を感じるが、卒業しても稲作はやりたくない」という意見も。その活路を見いだすには、自らの努力や意識改革が必要で「取り組み方次第で稲作農業は魅力あるものになる」と、熱く語る生産者もありました。

